

Special  
Olympics  
Nippon  
Niigata



# さ(あ)り

2018年5月 NO.28

発行

SON・新潟

事務局: 千950-2044

新潟市西区坂井砂山4丁目22-19

TEL: 025-378-0171

FAX: 025-378-0172

E-mail: son\_niigata@son.or.jp

公式Web: <http://son-niigata.com/>

スペシャルオリンピックス(SO)とは・・・

知的障害のある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックスでは活動に参加する知的障害のある人を「アスリート」と呼んでいます。

## 「レガシーは楽しみながら！」

スペシャルオリンピックス日本・新潟 理事長 平山 征夫

新しい活動年度を迎えましたが、皆さんお元気ですか。私は学長を退任しましたが、元気で自由な生活を楽しんでいます。早いもので新潟での冬季全国大会から2年が経ちました。未だにあの時の感動が時折蘇ってきます。あの大会で私たちは「レガシー(遺産)」を残そうと誓いました。幸い皆の頑張りに対して本部からこの数年特別支援があります。

本年度はいよいよそのレガシー事業を本格的に展開する年です。大会開催が皆の自信となって本県でのSO活動は徐々に広がり、最近ではフローア・ホッケーの大会開催の計画が出されています。レガシーの最大の目的である希望しているアスリートの参加とユニファイド活動などによるSO活動そのものの理解拡大、支援の輪の拡充をどう図るか具体化する必要があります。

こういって大変そうに思えますが、仲間が増えることや、競技レベルが上がって色々な大会に参加できることは喜びであり希望です。レガシーは楽しみながら達成するべきものです。SOとしても2020年を私達のオリンピックとすべく皆で頑張りましょう。



## 今年度も通常総会が無事に終了しました

SON・新潟の2018年度通常総会を、2018年3月21日(水・祝)午後、新潟市総合福祉会館にて開催しました。2017年度の活動及び決算報告、2018年度の活動計画及び収支予算についての説明を行い、全ての議案について承認されました。

2018年度は、新規プログラムが複数立ち上がり、また、コーチクリニックの開催回数も大変多く計画(一部実施済み)されています。他団体との連携も、今まで以上に進めていく予定です。また、各専門委員会や各支部の活動も活発に進めていきます。

2018～2019年度の役員は以下の通りです。よろしくお祈りします。

- 理事長：平山征夫
- 副理事長：星野明文、岩崎久弥、飛田野勉
- 理事：竹森登志男、齋藤俊至、木村裕、皆木伸介、久保田健、寺口能弘、  
荒木隆子、山田秋子、星野美恵子、平石操、山田由紀子
- 監事：滝沢慎一郎、山賀亮一



## 2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知 開催！ & 採火式・分火式 報告

今年度は夏季全国大会が愛知県で開催されます。この大会は、2019年3月に開催予定のSO世界大会・アパダビの選手選考も兼ねます。皆様の応援をよろしくお願いいたします。

【大会スローガン】 超える喜び。

【開催期間】 2018年9月22日(土)～24日(月・振替)3日間

【開催場所】 名古屋市 他 愛知県内

【参加競技】 13競技中、新潟からは8競技。競泳・陸上競技・卓球

バドミントン・バスケットボール・ボウリング・ゴルフ・フライングディスク

【アスリート参加人数】 新潟からは53名、全国から約1,000名の参加予定。



大会に先立ち、2月10日に熱田神宮にて採火式・分火式及びトーチランが執り行われました。無事に新潟へ聖火を持ち帰っていただきました。

◎ユニファイドリレートーチランに参加し、トーチを持ち第一走者で走りました。夏季大会で頑張りたいです。(山田 さくら)



# コーチクリニック 紹介&報告

今年度SON・新潟では現在申請中・予定を含めると12のコーチクリニック(CC)を開催する予定です。

CCを受講し、認定を受けるとコーチとしてステップアップできる制度になっており、現在新潟ではローカルトレーナー1名、ローカルトレーナー候補4名、スポーツトレーナー候補1名いらっしゃいます。CCの開催・コーチの育成はレガシーとしても重要な役割を担っています。

今号ではCCってなあに?とそのシステムについて紹介します。また、新プログラム立ち上げの際にCCを開催してきました。CC後立ち上がった今年度の新プログラムもあわせて掲載します。

## ◎SOの「コーチクリニック」とは?

SOにおける「コーチ」は、誰もがボランティアで参加できる一方、大変重要な役割を担っています。それはSO活動においてコーチとして求められる技術が、単にスポーツを指導する役割を担うだけでなく、知的障害のあるアスリートに対する幅広い知識と深い理解が必要だからです。SO日本では、コーチがアスリートに向けてより良いスポーツプログラムを提供できるようコーチ研修制度を展開しており、段階を踏んだ研修の場を設けています、まずその第一歩となるのがコーチクリニックです。

## ◎コーチクリニックは「コーチ」でなくても参加できる講習です

受講対象はコーチ・ボランティア希望者、コーチになることを目的としたアスリート、ファミリー、支援者・企業団体、ユニファイドスポーツのパートナー希望者等です。

## ◎認定コーチ資格取得の手順

### ①CC(GO・A及び競技)の受講

◎GO・A…「ゼネラルオリエンテーション」、「アスリート理解」を表します。

GOではSOの使命、歴史、特徴、組織活動、参加資格、SOスポーツルール、SOの独自性、などについて学び、A理解では、知的障害に関する基本的な理解、最適なサポートを考えます。

◎競技…座学では競技の特性、コーチの役割、アスリートへの指導法、競技ルールを、実技では、基本的な技術習得、留意点、様々なトレーニング法について学びます。

### ②当該競技プログラムに10時間以上(5回)コーチとして参加③申請、認定

## ◎コーチ研修システム&資格システム

CC⇒認定コーチ⇒ローカルトレーナーセミナー⇒ローカルトレーナー⇒アジアパシフィックトレインザトレイナーコース⇒ナショナルトレーナー⇒スポーツトレーナー⇕

## 2017年12月17日(日)中越ランチGO・A & 競泳(十日町市)

### ■トレーナーとして

◎ローカルトレーナー候補として初めてのCCではGOを担当しました。SOで10年以上活動してきたものの、その使命や理念などを分かりやすく伝えることの難しさを実感しました。

今後、益々精進し、SOの活動を支えられるトレーナーを目指して頑張っていこうと思います。

(涌井 こず恵)



◎学びあり、笑いあり、情報交換ありで「研修が楽しかった」そんな会になりました。ファミリーも多く参加した中で競泳では水の中での基本的な動きや事例を基にした注意点を教えていただきました。GO・AではSOに関わる内容はもちろん、講師の方々の本業やプログラム上の経験を紹介していただき実り多き研修となりました。

水泳では隔年でCCを開催したいと考えています。コーチの方々も資格更新はもちろんですが、新たにプログラムを立ち上げたい方にも是非参加していただければと思います。

皆さんとプールでお会いできるのを楽しみにしています。

(細井 哲明)



## 3月17日(土) ボウリング(三条市)

◎三条サカイボウルにて、ボウリングのコーチクリニックを開催しました。当日は、新潟市、三条市、小千谷市から30名の方に参加いただきました。

SON長野ナショナルトレーナー宮下和彦さんからご指導いただき、準備運動における注意点や、アスリートに見るレーンの前で止まって投球、を実際にやってみました。

終始和気あいあいと有意義な講習を受けることができました。

## 3月31日(土) ポッチ(SOポッチャ)

◎新潟ふれ愛プラザにおいて、ポッチプログラムのコーチクリニックが開催され、講師にはSON・熊本ナショナルトレーナー山本英史さんにお越しいただきました。「ポッチを通して育てたいこと」をテーマに話し合い、スポーツの楽しさを味わう、周りの人とのコミュニケーション力をつける、勝つ喜び、負ける悔しさ、感受性を育てる等々沢山の意見が出されました。実技の最後には、グループごとに対戦試合をし、大いに盛り上がった講習会でした。

(山田 秋子)

今年度実施・申請中の  
コーチクリニック

2/4	スノーシューイング
3/17	クロスカントリースキー
4/22	卓球
5/19	フロアホッケー
6/16	下越GO・A
6月	上越妙高GO・A
7月	バスケットボール

# 今年度新たに立ち上がった3つのプログラムについて紹介します♪

## モーターアクティビティーズトレーニングプログラム(MATP)

MATPプログラムは、マッサージで体の準備をした後、個々の運動機能、興味に合わせた活動(車イスダンス、陸上、バスケ、ボウリング等)を行い、最後にポッチャをして、スポーツや交流を楽しんでいます。

アスリート、ボランティア、ファミリーの関わりが密で、話をしたり、笑ったりしながらのんびり活動をしています。今後も、みんなで楽しみながら活動を続けられたらと思います。(漆原 純子)

©昨年度8月にコーチクリニックを実施し、新規プログラムとなりました。



## ポッチ体験会

1月にポッチプログラムが立ち上がり、2月10日、2月18日の両日には体験会が行われました。参加者は目標球(パリーナ)に向かって思い思いに投球練習をし、最後にはアスリート、ファミリー全員で試合をし、練習の結果を出した体験会でした。誰にでもできるスポーツです、ぜひご参加ください！(山田 秋子)



## 三条市ボウリング体験プログラム

4月から三条市でボウリングプログラムが立ち上がることになり、1月から3月まで計6回体験プログラムを行いました。大雪でキャンセルされる方もありましたが、参加者18名、総参加人数56名になりました。初めてのガター有レーン、アメリカン方式に、ファミリーが戸惑っていましたが、アスリートたちのいい笑顔を久しぶりに見た、という嬉しい声をたくさんいただきました。

## 全国ユニファイドサッカー大会 Dv1,2共に優勝！！

2017年12月9日～10日の2日間で大阪のJ-Green堺で第2回全国ユニファイドサッカー大会が行われました。SON・新潟AとSON・新潟Bの2チームに分かれ練習を重ね、チームワークを高めて大会に臨みました。新潟Aはdivison1で優勝、新潟Bはdivison2で優勝という結果でアスリートからも「優勝できてよかった！」「楽しかった！また来年も優勝目指したい！」等の声も聞かれました。

ユニファイドサッカーを通して本来の実力以上の力を発揮していたアスリートに感銘を受けました！第3回のユニファイドサッカー大会も優勝目指して頑張りたいと思います！(杉山 健太)



## 2017年11月4日(土) ボウリング



## 競技会報告

2017年11月～

グランドボウル新潟で地区競技会を開催しました。新潟のアスリート29名と、群馬からアスリート7名が参加しました。県ボウリング連盟会長の塚田様を来賓にお迎えし、平山理事長・ボランティア・ファミリーを合わせて95名で盛り上がりました。新調した10mのカラー横断幕に、アスリートは大会の雰囲気より一層感じた様子で「カッコイイ。頑張るぞ」という元気な声が聞こえました。ストライクやスペアが出ると、いつも以上の大きな拍手と声援。ガッツポーズと金メダル級の素敵な笑顔が輝いていました。(唐津 裕子)

## 2017年11月5日(日) バasketボール

長岡市民体育館にて、バスケットボール地区競技会が行われ、チーム競技には13チーム、個人スキルには12名のアスリートが出場しました。今回は長岡市プログラムが主管でしたが、長岡長生ライオンズクラブ様の全面的なサポートをいただき、無事に開催することができました。審判には、長岡市バスケットボール協会、長岡向陵高等学校バスケットボール部の皆様にボランティアでお越しいただきました。多くの皆様から支えられ、今年もアスリート一人一人、精一杯に戦い、力を発揮することができました。(山田 香苗)

## 3月17日(土) フロアホッケー

南魚沼市、新潟市、柏崎市から7チーム112人が参加し、ディスポート南魚沼でフロアホッケー交流競技会が開催されました。2016年冬季全国大会を支えてくださった地元ボランティアが大会運営を担当し、アスリートとパートナーによるユニファイド形式の熱戦が11試合行われました。

すばらしい大会運営をしていただき、今後は新潟市と南魚沼市での交互開催が可能となりそうです。(久保田 健)



## S0 アジアパシフィックリージョン会議へ参加しました

1968年S0設立以来今年で50周年を迎えユニス・シュライバーが生涯貫いた信念は、今も全世界に社会を変える動きとして広がっています。私は2月1日から4日シンガポールにて日本含むアジアパシフィックリージョン会議に参加してきました。

会議では「S0改革の年」として、22の加盟国において「共生社会」の創造に向け、国レベルで「ユニファイドスポーツ」「アスリートリーダー育成」の必要性とともに社会の変化に柔軟に応じる先見と革新を痛感しました。

(谷口 博文)

◎会議には、S0日本の代表として、SON理事1名とSON地区組織代表に谷口さんの2名がご出席されました。



## 企業・大学でボランティア説明会を行っています

SON・新潟では2017年からの5か年計画にボランティア人数の拡大を掲げています。ボランティア委員会では、2年前の冬季ナショナルゲーム(NG)の繋がりがや経験を生かして、昨年、企業・大学に出向き、「S0の説明」「スポーツトレーニングボランティア、イベントボランティアの内容」について説明会を開催しています。昨年、地区競技会にイベントボランティアが参加していただきましたが、残念ながら日頃のプログラムへの参加には繋がっていません。

今年も、引き続き大学への説明会を行い、またmitボランティアの地区競技会での活躍の機会を計画しています。

(唐津 裕子)

◎「mit(ミット)ボランティア」とは？…2016年冬季NGの際、大会に参加しないアスリートや知的障がいのある方々が、サポートしてくれる人(親以外)とペアを組み、ボランティアとして大会に関わってもらいました。冬季NGでは、大会を通して、障がいの有る人も無い人も共に生きるインクルージョン社会につながる機会を作ることを目的としていました。そのための取り組みとして、mit(ミット)が誕生しました。「mit(ミット)」には、野球のミットのようにアスリートを受け止めていきたいという気持ちや、カンボジア語では「友達」、ドイツ語では「ともに」という意味が込められています。



冬季NGの際のmitボランティアの活動の様子

## AED・救命講習会を実施しました

2017年11月11日、新潟ふれ愛プラザを会場に、スポーツの時だけでなく、いざという時にあわてず行動できるようにと、応急手当・AEDの使用方法についての講習会が開催されました。心臓マッサージ、AEDの操作方法を一人ずつ実践しました。参加者からの感想は、「もしもの時に少しでも落ち着いて行動ができそうな気持ちになった」、「以前にも受講したことがあるが、忘れていた部分もあり継続して機会を設けてほしい」という意見をいただきました。

(山田 秋子)

## 楽しみました ニュースポーツの集い！@佐渡市

平昌オリンピックが盛り上がっていた2月10日、佐渡市新穂のトキのむら元気館で、障がい者も健常者も一緒に楽しむニュースポーツの集いがSON・新潟他主催を開催しました。約80人の参加者が集まり、フロアホッケーとボッチャを体験していただきました。

佐渡には未だS0が発足されていませんが、佐渡市副市長の藤木様が駆け付けてくださいました。新潟からは久保田運営委員長が参加しました。協力・参加して下さった多くの方々に感謝申し上げます。

佐渡でも障がい者スポーツ、というよりユニファイド・スポーツ(障がい者も健常者も一緒に楽しむスポーツ)の輪が少しずつですが、着実に広がって来ている気がしました。こういった地道な活動が、やがて大きな世界につながって行く信じています。

(本間 祐一)

## SON・新潟 事務局より

### ■今後の予定

- ◎6月8日 S0スクール2018・北辰 @南魚沼市立北辰小
- ◎6月16～17日 第3回全国ユニファイドサッカー大会 @大阪
- ◎9月17日 ユニファイド交流イベント @小千谷市総合体育館
- ◎10月11日 第25回チャリティゴルフ大会 @フォレストカントリー倶楽部

■公式Webページに毎月のプログラム日程、ニュース、イベントやコーチクリニック開催のお知らせを掲載しています。Facebookも更新しています。是非ご覧ください。

■スポーツボランティア、イベントボランティアを常時募集しています。

詳しくは公式Webをご確認ください。

### ■賛助金納入のお願い

スペシャルオリンピックスの活動は、ボランティアと皆様の賛助金・寄付金で支えられています。

賛助金は、個人年間一口 3,000円・企業団体年間一口 10,000円となっております。寄付も受け付けております。

納入は、右記口座へお振込み(手数料はご負担願います)をお願いします。

※今号は2017年11月～5月の内容を掲載いたしました。



SON・新潟のリーフレットが  
完成しました！  
学校や職場、  
ご興味のある方へ  
配布していただける方は  
是非事務局へ  
お声掛けください♪

### 【振込先】

ゆうちょ銀行

記号番号:00580-5-101963

口座名:NPO法人 SON・新潟